



令和4年2月17(木)
縄瀬 保育園
池之上 俊江
NO. 19

今だから大切にしたい遊育。

園を見学にみえた保護者へ説明をしている時、園庭で遊ぶ子ども達の姿を見てお父さんが「自由保育って子どもが遊びを選ぶ自由なのですね」とおっしゃいました。社協園は、子ども達が遊びを主体的に選択できる環境を作ってきました。ソファでゆっくりくつろいだり、園庭で走り回ったり、サーキットでバイクを乗ったり、子ども達の一日は様々です。自分で決めたこの時間を充分楽しんでほしいものです。学校へ行くと、勉強が始まります。年齢を重ねるにつれ、部活や高校・大学受験、就職と慌ただしく時が流れて大人になっていきます。遊び事が許される子ども時代に、遊びへ没頭する時間を沢山経験してほしいと思います。初めての子どもさんを園へ預けるお母さんが「保育園に通う6年間は、学校のような机に向かう学習から離れてとにかく遊び込んでほしい」と話されました。本当にそう思います。大人になって本人が望めば勉強はいくらでも出来ますが、遊びを優先する事は難しいでしょう。子どもの仕事は遊ぶ事です。長い人生の中で、保育園に通うたった6年間だけは遊ぶ事だけに専念してほしいと感じます。

「早くしなさい！」は育児のタブー言葉・・・

ある本の中で、子育て中の「早くしなさい！」は控えましょうの文字にドキッとしました。私の一日は毎朝、「早く起きなさい！」から始まります。そして「早くご飯食べなさい」に続き、夕方「早くお風呂に入りなさい」「寝なさい」と「早く」のオンパレード。ある日、6歳の息子が「いつも早くしなさい！ばかり言うけど、僕も早くできる様に頑張ってるんだから！！」と激怒。私は驚きました。毎日のんびりしている息子も努力をしていたのだと反省でした。命令口調で大人から指示をされていると自分で主体的に考える事ができなくなる『指示待ち族』になってしまいます。大人にもテクニックが必要です。**その言葉は、「いつ？」です。**例えば、テレビを見ていてなかなかお風呂に入ってくれない。「テレビ楽しいね。いつお風呂に入るの？」「〇〇が終わったらね」一度は共感してその後、子どもに予定を聞くことで決定権が子どもに移ります。遊びと同じで主体的に決めた事には責任が伴います。それを繰り返す事で子ども自身が自分をコントロールしようとする力、**自律的生活力**が身についていきます。私もすぐに実践しました。待つこと10分・・・全く動かない息子。「〇〇終わったら、お風呂の約束じゃなかった？」「そっか・・・」としびしびと動きだしました。「私頑張ってるよ！」と待てた自分を褒めました。子どもを褒める事も大切ですが、待つ事ができた時はお母さんも自分自身を褒めて下さい。時代と共に母親は、家事・育児と毎日が盛りだくさん。毎日タイムリミットに追われ、自分でも言いたくないと思っても「早くしなさい！」が出てしまいがちです。そこは大人の母親がぐっとこらえる事が大切です。「早く！」を言わないではなく、「いつ？」と言い換えられる自分になりたいと感じました。子ども自身も何かしらの努力をしています。それに寄り添える時間を少しでも作れるようにしましょう。私自身、思い描いていた子育てができず落ち込む事も度々・・・子どもと一緒に成長していきながら、子育てを楽しめたらいいなと気軽な気持ちが必要だと思います。

5組の特権！！

1月後半より5組と食事をしています。その日食べる子ども達は、4人で話し合い食べる場所を決め、テーブルセッティングをして、12時には食事を食べられる様になると決めています。5組になると時計を意識しながら見通しを持って行動できる様になります。テーブルを運ぶ人、台拭きする人と役割分担も自分達で行います。外のテーブルで食べる際には、食事を運ぶ前にまず靴の準備が必要です。自分達で考え、教え合い食事の準備をしていきます。またスプーンでの食事が箸へ移行します。遊びを通して三点の指を意識した遊びが充分にできているので、箸への移行もスムーズです。食事時間も20分で食べ終わる事を意識しています。食事中的話題も様々です。小学校への期待やちょっとした不安、家での話と語りながら食事を楽しんでいる所です。4月出会った当初は、大人しい印象の5組でしたが、本当に立派に成長しています。普段は見せない一面に私も楽しませてもらっています。残り少ない5組との食事の時間を大切にしたいです。